



平成29年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社小田原エンジニアリング

コード番号 6149

URL <http://www.odawara-eng.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮脇 伸郎

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役兼管理部長 (氏名) 保科 雅彦 (TEL) 0465-83-1122

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第2四半期の連結業績 (平成29年1月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	4,418	△22.5	53	△90.7	69	△87.9	1,162	134.5
28年12月期第2四半期	5,702	25.1	574	125.3	578	72.0	495	138.6

(注) 包括利益 29年12月期第2四半期 1,290百万円(173.7%) 28年12月期第2四半期 471百万円(73.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第2四半期	198.72	—
28年12月期第2四半期	91.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第2四半期	16,670	10,461	62.8
28年12月期	13,413	9,346	69.7

(参考) 自己資本 29年12月期第2四半期 10,461百万円 28年12月期 9,346百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	0.00	—	30.00	30.00
29年12月期	—	0.00	—	—	—
29年12月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

28年12月期期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 記念配当 15円00銭

29年12月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 特別配当 15円00銭

3. 平成29年12月期の連結業績予想 (平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,300	3.7	700	△23.4	750	△23.7	1,600	107.5	273.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年12月期2Q	6,392,736株	28年12月期	6,392,736株
② 期末自己株式数	29年12月期2Q	544,864株	28年12月期	544,824株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年12月期2Q	5,847,880株	28年12月期2Q	5,393,648株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、設備投資や生産、輸出の持ち直し、企業収益や雇用情勢の改善など、全体として緩やかな回復基調が続きました。

一方世界経済は、中国では各種政策効果もあり景気は持ち直しの動きがみられ、米国では景気は着実に回復が続き、欧州では景気は緩やかに回復するなど、全体としては緩やかに回復いたしました。

このような状況下、当社グループは国内外で積極的な営業活動を展開した結果、生産活動は概ね計画どおりに推移しているものの、売上高は4,418百万円(前年同四半期比22.5%減)となり、利益面につきましては、営業利益は53百万円(前年同四半期比90.7%減)、経常利益は69百万円(前年同四半期比87.9%減)、投資有価証券売却益1,584百万円を特別利益に計上したことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,162百万円(前年同四半期比134.5%増)となりました。

当第2四半期連結累計期間のセグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①巻線機事業

巻線機事業に関しては、生産活動は概ね計画どおりに推移しているものの、一部の売上が第3四半期以降にずれ込んだことや、大型案件の売上を第3四半期以降に見込んでいることなどから、売上高は2,305百万円(前年同四半期比35.0%減)、セグメント利益は182百万円(前年同四半期比62.7%減)となりました。

②送風機・住設関連事業

送風機・住設関連事業に関しては、浴室照明器具が堅調な受注を維持しているなか、産業用ロボットやスマートフォン向け等工作機械関連向けの軸流ファン需要が引き続き回復してきたこと等により、送風機事業が順調に推移した結果、売上高は2,113百万円(前年同四半期比10.6%増)、セグメント利益は34百万円(前年同四半期は27百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

1. 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて34.6%増加し、12,767百万円となりました。これは主に、現金及び預金が2,285百万円、商品及び製品が1,689百万円それぞれ増加し、受取手形及び売掛金が153百万円、仕掛品が531百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.7%減少し、3,902百万円となりました。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて24.3%増加し、16,670百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて59.3%増加し、5,744百万円となりました。これは主に、未払法人税等が423百万円、前受金が2,173百万円それぞれ増加し、支払手形及び買掛金が505百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて0.6%増加し、463百万円となりました。この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて52.7%増加し、6,208百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて11.9%増加し、10,461百万円となりました。これは主に、利益剰余金が986百万円増加したこと等によるものであります。

2. キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ2,306百万円(71.3%)増加し、5,540百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は950百万円(前年同期は1,023百万円の収入)となりました。収入の主な内訳は、前受金の増加額2,143百万円等であります。また、支出の主な内訳は、たな卸資産の増加額1,191百万円、仕入債務の減少額501百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は1,487百万円(前年同期は86百万円の支出)となりました。収入の主な内訳は、投資有価証券の売却による収入1,589百万円等であります。また、支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出108百万円等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は前年同期に比べ75百万円(30.0%)減少し、174百万円となりました。支出の主な内訳は配当金の支払額174百万円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1) 経営成績に関する説明」に記載のような事業環境の下、経営計画を見直したことから、平成29年2月14日に公表した通期連結業績予想を修正いたしました。

なお、詳細は、平成29年8月9日付で公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,379,649	5,665,640
受取手形及び売掛金	2,172,865	2,019,828
電子記録債権	598,666	586,147
商品及び製品	482,135	2,171,175
仕掛品	2,011,725	1,480,083
原材料及び貯蔵品	475,177	511,826
繰延税金資産	183,397	220,965
その他	182,539	112,865
貸倒引当金	△1,168	△990
流動資産合計	9,484,988	12,767,543
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,885,110	2,906,871
減価償却累計額	△1,658,243	△1,720,914
建物及び構築物(純額)	1,226,866	1,185,956
機械装置及び運搬具	1,090,975	1,117,812
減価償却累計額	△890,724	△930,638
機械装置及び運搬具(純額)	200,251	187,174
工具、器具及び備品	1,076,765	1,126,735
減価償却累計額	△947,097	△1,002,180
工具、器具及び備品(純額)	129,667	124,555
土地	1,581,568	1,584,714
建設仮勘定	27,835	48,064
有形固定資産合計	3,166,189	3,130,465
無形固定資産		
ソフトウェア	60,919	65,358
電話加入権	3,043	3,043
その他	165	156
無形固定資産合計	64,128	68,558
投資その他の資産		
投資有価証券	403,384	409,520
破産更生債権等	0	0
退職給付に係る資産	268,523	266,765
その他	25,903	27,470
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	697,811	703,757
固定資産合計	3,928,129	3,902,782
資産合計	13,413,118	16,670,325

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,128,864	1,622,895
未払金	219,310	204,153
未払法人税等	173,318	597,170
前受金	706,868	2,880,600
賞与引当金	62,462	61,275
アフターサービス引当金	74,779	66,958
その他	240,068	311,907
流動負債合計	3,605,670	5,744,961
固定負債		
繰延税金負債	112,455	111,031
役員退職慰労引当金	115,590	127,490
退職給付に係る負債	181,016	179,536
資産除去債務	33,691	33,846
その他	18,518	12,027
固定負債合計	461,272	463,932
負債合計	4,066,942	6,208,893
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,250,816	1,250,816
資本剰余金	1,786,154	1,786,154
利益剰余金	6,832,613	7,819,289
自己株式	△380,831	△380,873
株主資本合計	9,488,753	10,475,387
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	131,191	137,140
繰延ヘッジ損益	△60,062	△284
為替換算調整勘定	△213,706	△150,811
その他の包括利益累計額合計	△142,577	△13,954
純資産合計	9,346,175	10,461,432
負債純資産合計	13,413,118	16,670,325

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
売上高	5,702,388	4,418,942
売上原価	4,208,042	3,224,240
売上総利益	1,494,346	1,194,701
販売費及び一般管理費	920,157	1,141,217
営業利益	574,188	53,484
営業外収益		
受取利息	1,652	398
受取配当金	91,517	3,920
受取賃貸料	7,826	8,375
作業くず売却益	2,582	5,715
その他	7,337	7,098
営業外収益合計	110,915	25,509
営業外費用		
支払利息	674	31
支払手数料	30,018	—
為替差損	73,224	6,754
減価償却費	2,788	1,547
その他	33	922
営業外費用合計	106,738	9,256
経常利益	578,365	69,737
特別利益		
固定資産売却益	715	209
投資有価証券売却益	—	1,584,525
投資有価証券清算益	11,175	—
関係会社清算益	102,546	—
特別利益合計	114,436	1,584,735
特別損失		
固定資産除売却損	25	126
減損損失	1,785	—
特別損失合計	1,811	126
税金等調整前四半期純利益	690,990	1,654,346
法人税、住民税及び事業税	141,335	559,800
法人税等調整額	△2,852	△67,567
法人税等合計	138,483	492,233
四半期純利益	552,507	1,162,113
非支配株主に帰属する四半期純利益	56,959	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	495,547	1,162,113

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	552,507	1,162,113
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△64,276	5,949
繰延ヘッジ損益	4	59,778
為替換算調整勘定	△16,568	62,895
その他の包括利益合計	△80,840	128,623
四半期包括利益	471,666	1,290,736
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	414,850	1,290,736
非支配株主に係る四半期包括利益	56,816	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	690,990	1,654,346
減価償却費	129,161	130,556
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△1,584,525
投資有価証券清算損益(△は益)	△11,175	—
関係会社清算損益(△は益)	△102,546	—
固定資産除売却損益(△は益)	△689	△83
減損損失	1,785	—
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	8,880	11,900
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	3,115	△1,480
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	—	1,757
賞与引当金の増減額(△は減少)	409	△1,102
アフターサービス引当金の増減額(△は減少)	19,698	△8,596
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△263	△177
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△2,606	—
受取利息及び受取配当金	△93,170	△4,319
支払利息	674	31
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	164,128	—
売上債権の増減額(△は増加)	67,789	170,842
たな卸資産の増減額(△は増加)	482,597	△1,191,309
仕入債務の増減額(△は減少)	42,764	△501,837
未払金の増減額(△は減少)	△28,273	6,563
前受金の増減額(△は減少)	△564,952	2,143,076
その他	248,206	264,181
小計	1,056,527	1,089,824
利息及び配当金の受取額	52,009	4,259
利息の支払額	△535	△31
法人税等の支払額	△84,554	△143,313
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,023,446	950,737
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	△52,545	20,274
有形固定資産の取得による支出	△108,965	△108,448
有形固定資産の売却による収入	816	219
無形固定資産の取得による支出	△20,796	△13,245
投資有価証券の取得による支出	△1,652	△2,640
投資有価証券の売却による収入	—	1,589,536
長期貸付金の回収による収入	954	3,354
関係会社の清算による収入	95,255	—
その他	—	△1,740
投資活動によるキャッシュ・フロー	△86,933	1,487,309

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△150,000	—
自己株式の取得による支出	—	△42
配当金の支払額	△95,025	△174,420
非支配株主への配当金の支払額	△4,539	—
その他	△418	△418
財務活動によるキャッシュ・フロー	△249,982	△174,881
現金及び現金同等物に係る換算差額	△27,230	43,733
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	659,299	2,306,899
現金及び現金同等物の期首残高	2,015,748	3,234,005
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,675,048	5,540,905

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	巻線機事業	送風機・住設 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,546,922	1,910,247	5,457,170	245,218	5,702,388	—	5,702,388
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	227	227	—	227	△227	—
計	3,546,922	1,910,474	5,457,397	245,218	5,702,615	△227	5,702,388
セグメント利益又は損失 (△)	489,574	△27,705	461,869	244,689	706,559	△132,370	574,188

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、企業再生支援事業であります。

2. セグメント利益の調整額△132,370千円の主なものは、各報告セグメントに配分していない全社費用であり当社の管理部門に係る費用等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第2四半期連結会計期間において、「企業再生支援事業」を構成していた匿名組合より出資金が返還されたことにより、前連結会計年度末日に比べ、「企業再生支援事業」のセグメント資産が、164,128千円減少しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	巻線機事業	送風機・住設 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,305,882	2,113,059	4,418,942	—	4,418,942
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	513	513	△513	—
計	2,305,882	2,113,572	4,419,455	△513	4,418,942
セグメント利益	182,656	34,411	217,068	△163,583	53,484

(注)1. セグメント利益の調整額△163,583千円の主なものは、各報告セグメントに配分していない全社費用であり当社の管理部門に係る費用等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

平成29年2月をもって「その他」の区分に含まれておりました企業再生支援事業から撤退したことに伴い、第1四半期連結累計期間より「その他」を廃止しております。